

2009年11月4日(水)

広島国際大学 公開講座「咲楽塾」
数学のひろがり ゼロから無限へ⑮

「算木の歴史と計算方法」

算木とは古代中国で生まれた計算用具で、算籌とも呼ばれました。古くは『老子』にその名前が見られ、『孫子算経』には使用方法の簡単な説明があります。日本でも江戸期に、高次方程式の解法など、和算の発展に大いに貢献しました。本講座では、算木の歴史を概観し、算木電卓を用いて加減乗除や開平法について解説します。

なお、日程につきましては以下のとおりです。

皆様の参加を心よりお待ちしております。

- ◎ 日時： 2009年11月7日(土) 14:00～16:00
- ◎ 場所： 広島国際大学 呉キャンパス(1号館3階 1301教室)
(〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1)
- ◎ 講演者： 田村 誠 准教授(大阪産業大学 教養部)
- ◎ テーマ： 「算木の歴史と計算法」
- ◎ 対象者： 一般・学生(中学生・高校生)【定員：150名】
- ◎ 参加費： **無料**【事前申し込み要(11月5日(木)締切)

・申込先 Tel: 0823-73-8830 (担当: 坂田)
E-mail: y-sakata@ofc.hirokoku-u.ac.jp
・申込内容 氏名・住所・電話番号

添付資料：ポスター

以上

この件に関するお問い合わせ先

広島国際大学 工学部事務室 までお願いいたします。

TEL: 0823-73-8830 (担当: 坂田)

上記リリースに関する資料は <http://www.hirokoku-u.ac.jp/>にUPされております。

発信枚数：本書含め2枚

算木の歴史と計算法

日時 2009年11月7日(土) 14:00~16:00
会場 広島国際大学 呉キャンパス 1号館 1301教室
対象 中学生、高校生、一般
講師 田村誠 (大阪産業大学 教養部 准教授)



講師 田村誠

算木とは古代中国で生まれた計算用具のことで、算籌とも呼ばれました。古くは春秋戦国時代の『老子』(紀元前5C頃)にその名が見られ、『孫子算経』(3~5C頃)には使用法の簡単な説明があります。日本でも江戸期に、高次方程式の解法などで和算の発展に大いに貢献しました。

この講座では、算木の歴史を簡単にたどった後で、算木電卓(愛媛大学平田浩一先生作)を用いて、足し算、引き算、掛け算、割り算の方法を説明します。また、時間が許す限り開平方についても説明したいと思います。



会場(JR新広駅下車徒歩7分)

受講料 無料

申込方法 参加を希望される方は、下記申込み先まで、氏名、住所、電話番号をお知らせ下さい。

申込先 広島国際大学 工学部事務室

tel. 0823-73-8830 (担当 坂田)

e-mail: y-sakata@ofc.hirokoku-u.ac.jp

締切り 11月5日(木)

イラスト 宮嶋千咲 (薬学部 薬学科 2年)